

## 日本国際経済学会ニュース

発行：日本国際経済学会本部（2010年10月17日より下記へ移転）

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学商学部 遠藤正寛研究室気付

日本国際経済学会本部事務局

Tel：03-5427-1277（遠藤正寛研究室） Fax：03-5427-1578（研究科事務局）

E-mail：jsie-office@fbc.keio.ac.jp

### 新会長挨拶

### 学会活動のさらなる活性化に向けて

日本国際経済学会 会長  
木村 福成

日本国際経済学会は、今年で創立60周年の長い歴史と輝かしい伝統を誇る学会です。そもそも学会とは、学会員の皆様の研究・教育活動に資するインフラ・サービスを提供することが任務と心得ております。皆様のお力を借りながら、学会活動をさらに活性化していきたいと考えています。

我々の学会は、経常収入のほとんどを会員からの会費に依拠しつつ、会員の創意をもとに、活発な活動を展開しています。全国のみならず、関東・中部・関西の各支部単位でも、さまざまな催しが企画されている点も特徴的です。外部からの無理な資金調達に汲々とせず、機動的な体制を維持することは、現在のような経済社会情勢の下では賢い選択だと思います。これからも、張り切りすぎずに身軽な体制を続けつつ、さらに会員の皆様のお役に立てるような場を提供するために何ができるか、工夫をこらしていきたいと考えています。

当面、次の3つの側面を手がかりに、少しずつ試行錯誤していきたいと思っています。

第1は、学会員相互の研究活動に関する情報共有の強化です。たとえば、学会ホームページには学会員が企画する各種シンポジウム等のお知らせを載せていますが、こうした情報共有をもっと活発にして、さまざまな学術交流のお手伝いができたらと考えています。また、和英双方の学会誌は、皆様の努力にもかかわらず、投稿論文数がなかなか増えない状況から抜け出せていません。どうすればもっと活性化できるか、一部で話題のぼっている電子ジャーナル化の可能性も含め、考えていきます。

第2は、学会活動への若手研究者・大学院生のより一層の積極的参加です。小島清賞に続いて45歳以下の研究者を対象とする特定領域研究奨励賞（小田賞）が新設されることは大変喜ばしいことです。それに加え、大学院生等にもっと積極的に参加してもらうため、全国大会におけるポスター・セッション導入なども検討してみます。

第3は、学会活動の国際化です。我々の学会は「国際」と銘打っている割にはややドメスティックな感じも否めません。日韓の学会交流は長く続いていますし、全国大会で英語セッションを設けるなど、いろいろ工夫を凝らしてはいますが、お金をかけずともまだやれそうなことがあるように思います。春の全国大会における60周年記念事業を皮切りに、機会を捉えて他の学会・機関等との連携も図りながら、何ができるか、考えていきたいと思っています。

その他、いろいろとお考えのところがありましたら、是非ともご連絡ください。すぐにできることとそうでないものがあるでしょうが、できるだけフットワーク軽く前進していきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願います。

2011年1月7日

日本国際経済学会ニュース 2011/1/14 目次

◎新会長挨拶	1	◎役員業務分担	7
◎平成 22 年度会員総会 議事録	2	◎平成 22 年度新入会者（追加）	8
◎平成 22 年度小島清賞の決定と受賞について	5	◎平成 23 年度小島清賞について（お知らせ）	9
◎平成 21 年度小島清基金決算について	5	◎平成 23 年度特定領域研究奨励賞（小田賞） について（お知らせ）	9
◎日本国際経済学会の対外活動について	5	◎本部・各支部事務所所在地	10
◎役員名簿	6		

平成 22 年度会員総会 議事録

会員総会 （第 1 日）

日時：2010 年 10 月 16 日（土） 13：00～13：20

会場：大阪大学 法・経講義棟 5 番教室

議長：阿部顕三会長

1. 平成 21（2009）年度事業報告について

中西訓嗣常任理事（神戸大学）より以下の通り報告があり、これを承認した。

- (1) 第 68 回全国大会開催（2009 年 10 月 17～18 日 中央大学）
- (2) 機関誌『国際経済（日本国際経済学会研究年報）』第 60 号発行
- (3) 機関誌『The International Economy』No.13 発行

2. 平成 21（2009）年度決算案について

中西訓嗣常任理事（神戸大学）より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2010 年 9 月 13 日号参照】

3. 平成 21（2009）年度特別事業活動基金決算案について

中西訓嗣常任理事（神戸大学）より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2010 年 9 月 13 日号参照】

4. 平成 21 年度（2009 年 10 月～2010 年 9 月）日本国際経済学会小島清基金決算案について

中西訓嗣常任理事（神戸大学）より標記について説明があり、審議した結果、資料の通りこれを承認した。  
【5 頁参照】

5. 平成 22（2010）年度事業案について

中西訓嗣常任理事（神戸大学）より以下の通り説明があり、これを承認した。

- (1) 第 69 回全国大会開催（2010 年 10 月 16, 17 日 大阪大学）
- (2) 機関誌『国際経済（日本国際経済学会研究年報）』第 61 号発行予定
- (3) 機関誌『The International Economy』No.14 発行予定

6. 平成 22（2010）年度予算案について

中西訓嗣常任理事（神戸大学）より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2010 年 9 月 13 日号参照】

7. 平成 22（2010）年度特別事業活動基金決算案について

中西訓嗣常任理事（神戸大学）より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2010 年 9 月 13 日号参照】

8. 日本国際経済学会小島清賞研究奨励賞および優秀論文賞の受賞者の発表について  
阿部顕三会長（大阪大学）より標記について、研究奨励賞には、浦田秀次郎氏（早稲田大学）、大川昌幸氏（立命館大学）、澤田康幸氏（東京大学）の3氏が、優秀論文賞には柳瀬明彦氏（東北大学）がそれぞれ選考されたとの発表があった。【5頁参照】
9. 会則の改正について  
中西訓嗣常任理事（神戸大学）より標記について説明があり、審議した結果、資料の通りこれを承認した。
10. 内規等の改正・廃止について  
中西訓嗣常任理事（神戸大学）より標記について、資料の通り報告があった。
11. 新入会員の発表について  
中西訓嗣常任理事（神戸大学）より標記について、資料の通り12名の入会申し込み者の申し込みが理事会において承認されたとの報告があった。【8頁参照】
12. 第1回春季大会について  
中西訓嗣常任理事（神戸大学）より、第1回春季大会は平成23年6月11日（土）の日程で龍谷大学において開催されるとの報告があった。また、春季大会の開催に合わせて、学会創立60周年記念事業シンポジウムも開催されるとの報告があった。
13. 韓国国際経済学会への研究者派遣について  
中西訓嗣常任理事（神戸大学）より、安藤光代氏（慶應義塾大学）、板倉健氏（名古屋市立大学）、神事直人氏（京都大学）の3名を平成22年度の韓国国際経済学会への派遣研究者として依頼するとの発表があった。【5頁参照】
14. 特定領域研究奨励賞（小田賞）について  
阿部顕三会長（大阪大学）より、小田正雄氏（立命館大学）からの寄付金にもとづき、国際貿易・貿易政策に関する優れた研究を行い、外国の査読付き雑誌に論文を掲載した学会員を顕彰するための「特定領域研究奨励賞（小田賞）」が新たに設けられることとなったとの発表があった。（※審査委員には、木村福成会長（慶應義塾大学）（委員長）、石川城太常任理事（一橋大学）、岡本久之常任理事（兵庫県立大学）、藪内繁己理事（愛知大学）を指名させていただきました。）

## 会員総会 （第2日）

日時：2010年10月17日（日）13:00～13:20

会場：大阪大学 法・経講義棟 5番教室

議長：木村福成（新）会長

1. 新会長の発表について  
阿部顕三会長（大阪大学）より標記について、理事会において木村福成副会長（慶應義塾大学）が新会長に選任されたとの発表があった。
2. 新副会長の発表について  
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、理事会において岩本武和常任理事（京都大学）が副会長に選任されたとの発表があった。
3. 特命理事の発表について  
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、理事会において嘉治佐保子（慶應義塾大学）、佐竹正夫（東北大学）、趙来勲（神戸大学）の3氏を特命理事に指名したとの発表があった。

4. 新常任理事の発表について

木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、理事会において青木浩治理事（甲南大学）、石川城太理事（一橋大学）、馬田啓一理事（杏林大学）、浦田秀次郎理事（早稲田大学）、岡本久之理事（兵庫県立大学）、奥村隆平理事（名古屋大学）、櫻井公人理事（立教大学）、中西訓嗣理事（神戸大学）、中本悟理事（大阪市立大学）、若杉隆平理事（京都大学）の10氏に常任理事を委嘱したとの発表があった。

5. 新幹事の発表について

木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、理事会において安藤光代氏（慶應義塾大学）に常任幹事を委嘱したとの発表があった。

6. 新監事の決定について（審議事項）

木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、乾友彦氏（日本大学）、近藤健児氏（中京大学）、大川良文氏（滋賀大学）を監事とすることが提案され、審議の結果これを承認した。

7. 新本部事務局の発表について

木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、遠藤正寛理事（慶應義塾大学）研究室を新本部事務局とするとの発表があった。

8. 新本部業務の役割分担について

木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、本部事務局の総務担当を遠藤正寛理事（慶應義塾大学）、本部会計の担当を安藤光代常任幹事（慶應義塾大学）とするとの発表があった。

9. 第70回全国大会（2011年）開催機関について

木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、第70回全国大会（2011年）を慶應義塾大学三田キャンパスで開催すること、準備委員長を嘉治佐保子特命理事（慶應義塾大学）とすること、開催日は10月22日（土曜日）・23日（日曜日）を予定していることが発表された。（※他の準備委員会委員には、安藤光代常任幹事（慶應義塾大学）、遠藤正寛理事（慶應義塾大学）、大久保敏弘氏（神戸大学）を指名させていただきました。）

10. 第70回全国大会「プログラム委員会」の委員長および委員の発表について

木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、第70回全国大会「プログラム委員会」の委員長に馬田啓一常任理事（杏林大学）を任命するとの発表があった。他の委員については、後日指名の上「日本国際経済学会ニュース」を通じて発表することとした。（※他のプログラム委員会委員には、大東一郎理事（東北大学）、栗原裕幹事（愛知大学）、清水一史理事（九州大学）、中本悟常任理事（大阪市立大学）、増田正人理事（法政大学）、松浦寿幸氏（慶應義塾大学）を指名させていただきました。）

11. 「日本国際経済学会小島清基金運営委員会」の委員長および委員の発表について

木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、委員長に阿部顕三前会長（大阪大学）を、委員に井川一宏顧問（京都産業大学）、池間誠顧問（一橋大学名誉教授）、岩本武和副会長（京都大学）、中西訓嗣常任理事（神戸大学）、藪内繁己理事（愛知大学）、若杉隆平常任理事（京都大学）を、それぞれ任命するとの発表があった。

12. 顧問の就任依頼について

木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、理事会において阿部顕三前会長（大阪大学）が顧問に推挙され、承認されたとの報告があった。

（本部事務局注：※は事務局による追記で、総会後に決定した関連事項です。）

## 平成 22 年度小島清賞各賞の決定と受賞について

2010 年 7 月 16 日に日本国際経済学会 小島清賞選考委員会が開催され、以下の通り各賞の授賞が決定されました。また、先日大阪大学で開催された第 69 回全国大会 2 日目（10 月 17 日）に研究奨励賞授賞式が執り行われ、浦田秀次郎、大川昌幸、澤田康幸各先生の受賞記念講演が行われました。

1. 研究奨励賞：浦田秀次郎先生（早稲田大学）、大川昌幸先生（立命館大学）、澤田康幸先生（東京大学）
2. 優秀論文賞：柳瀬明彦先生（東北大学）

## 平成 21 年度小島清基金決算

2010 年 10 月 16 日に大阪大学において、以下の平成 21 年度小島清基金決算が承認されました。

### 平成 21 年度 小島清基金決算（案）（2009/10～2010/9）

収入	繰越金	20,559,594
	利息	6,487
	総計	20,566,081
支出	賞金*	3,200,000
	賞状・楯	110,250
	会議費	84,814
	交通費	166,000
	郵送費	2,820
	振替料金	1,155
	雑費**	20,177
	総計	3,585,216
	次年度繰越金	16,980,865

\* 平成 21 年度の小島清賞（奨励賞 3 名、優秀論文賞 1 編）。賞金支出額が 10 万円分多いのは、平成 20 年度優秀論文賞受賞者への振込 1 件が平成 21 年度に持ち越されたため。

\*\*雑費には、会議資料印刷費、式典の盛り花費用等が含まれる。

注) 上記の「平成 21（2009）年度小島清基金決算（案）」につきましては、監事の先生方にご監査頂き、正確であることをお認め頂いております。

## 日本国際経済学会の対外活動について

日本・韓国国際経済学会学術交流協定に基づき、2010 年 12 月 11 日（土）に成均館大学校において開催された 2010 年度韓国国際経済学会・冬季学術発表大会に木村福成会長、岩本武和副会長、阿部頭三顧問、遠藤正寛理事および研究報告者として以下の会員の方々が派遣されました。

報告者：

安藤 光代（慶應義塾大学）	“The Impacts of Japan-Mexico EPA on Bilateral Trade”
板倉 健（名古屋市立大学）	“How Important is the Sequencing of Free Trade Agreements in the Asia-Pacific Region?”
神事 直人（京都大学）	“Trade Patterns and International Technology Spillovers: Theory and Evidence from Patent Citations”

## 役員名簿（○印は新任）

## 会長（定員1名）

○木村 福成（慶應義塾大学）

## 副会長（定員1名）

○岩本 武和（京都大学）

## 常任理事（定員10名）

○青木 浩治（甲南大学）	石川 城太（一橋大学）	馬田 啓一（杏林大学）
浦田秀次郎（早稲田大学）	岡本 久之（兵庫県立大学）	奥村 隆平（名古屋大学）
○櫻井 公人（立教大学）	中西 訓嗣（神戸大学）	中本 悟（大阪市立大学）
若杉 隆平（京都大学）		

## 理事（定員24名）

石田 修（九州大学）	板木 雅彦（立命館大学）	○遠藤 正寛（慶應義塾大学）
郭 洋春（立教大学）	勝 悦子（明治大学）	上川 孝夫（横浜国立大学）
佐々木隆生（北海道大学）	佐藤 秀夫（東北大学）	清水 一史（九州大学）
新保 博彦（大阪産業大学）	○大東 一郎（東北大学）	田中 祐二（立命館大学）
多和田 眞（名古屋大学）	戸崎 純（首都大学東京）	中嶋 慎治（松山大学）
中條 誠一（中央大学）	○夏目 啓二（龍谷大学）	○新岡 智（関東学院大学）
広瀬 憲三（関西学院大学）	古沢 泰治（一橋大学）	増田 正人（法政大学）
藪内 繁己（愛知大学）	横山 正樹（フェリス学院大学）	○蓬田 守弘（上智大学）

## 特命理事

○嘉治佐保子（慶應義塾大学）	佐竹 正夫（東北大学）	趙 来勲（神戸大学）
----------------	-------------	------------

## 監事（若干名）

○乾 友彦（日本大学）	○大川 良文（滋賀大学）	近藤 健児（中京大学）
-------------	--------------	-------------

## 幹事（定員約20名）

## 【関東支部】

○安藤 光代〈常任〉（慶應義塾大学）	川野 祐司（東洋大学）	○小森谷徳純（中央大学）
○澤田 康幸（東京大学）	柴山 千里（小樽商科大学）	西 孝（杏林大学）
○柳瀬 明彦（東北大学）		

## 【中部支部】

唐澤 幸雄（南山大学）	栗原 裕（愛知大学）	竹野 忠弘（名古屋工業大学）
-------------	------------	----------------

## 【関西支部】

伊田 昌弘（阪南大学）	尾上 修悟（西南学院大学）	○斉藤 宗之（奈良県立大学）
神事 直人（京都大学）	春名 章二（岡山大学）	○東田 啓作（関西学院大学）
○丸山佐和子（神戸大学）		

## 顧問

渡辺福太郎（学習院大学名誉教授）	本山 美彦（大阪産業大学）	池間 誠（一橋大学名誉教授）
井川 一宏（京都産業大学）	大山 道広（慶應義塾大学名誉教授）	関下 稔（立命館大学）
田中 素香（中央大学）	○阿部 顕三（大阪大学）	

## 役割の業務分担 (○印は責任者)

	【関東支部】	【中部支部】	【関西支部】
<b>本部関係</b>			
<総務担当>			
常任理事	○若杉 隆平		中西 訓嗣
理事	上川 孝夫		田中 祐二
	遠藤 正寛		
	郭 洋春		
幹事			斉藤 宗之
<u>ニュース・HP</u>			
常任理事	○櫻井 公人	奥村 隆平	
理事	増田 正人		新保 博彦
幹事	小森谷徳純	栗原 裕	東田 啓作
<u>会員名簿</u>			
常任理事			
理事	○佐藤 秀夫	藪内 繁己	広瀬 憲三
	戸崎 純		
幹事			
<財務担当>			
常任理事			青木 浩治
理事	○中條 誠一	藪内 繁己	
幹事	安藤 光代<常任>		
<編集・出版担当>			
常任理事			青木 浩治
			中本 悟
理事	○佐竹 正夫	藪内 繁己	石田 修
	佐々木隆生		
	横山 正樹		
幹事	柳瀬 明彦		春名 章二
<企画・渉外担当>			
常任理事	○浦田秀次郎	奥村 隆平	
理事	新岡 智		夏目 啓二
	古沢 泰治		趙 来勲
幹事	澤田 康幸		伊田 昌弘
<監査>			
監事	乾 友彦	近藤 健児	大川 良文
<b>支部関係</b>			
常任理事	○石川 城太		○岡本 久之
	馬田 啓一		
理事	勝 悦子	○多和田 眞	板木 雅彦
	大東 一朗		清水 一史
	蓬田 守弘		中嶋 慎治
幹事	川野 祐司	唐澤 幸雄	尾上 修悟
	柴山 千里	竹野 忠弘	神事 直人
	西 孝		丸山佐和子

#### 出版委員会

委員長 佐竹 正夫 (東北大学)  
副委員長 中西 訓嗣 (神戸大学)  
委員 青木 浩治 (甲南大学) 石田 修 (九州大学) 浦田秀次郎 (早稲田大学)  
大川 昌幸 (立命館大学) 小川 英治 (一橋大学) 櫻井 公人 (立教大学)  
澤田 康幸 (東京大学) 中條 誠一 (中央大学) 中本 悟 (大阪市立大学)  
藪内 繁己 (愛知大学)  
幹事 柴田 孝 (大阪商業大学) 柳瀬 明彦 (東北大学)

#### 小島清基金運営委員会

委員長 阿部 顕三 (大阪大学)  
副委員長 中西 訓嗣 (神戸大学) <事務局長>  
委員 井川 一宏 (京都産業大学) 池間 誠 (一橋大学名誉教授) 岩本 武和 (京都大学)  
藪内 繁己 (愛知大学) 若杉 隆平 (京都大学)

#### 特定領域研究奨励賞(小田賞) 審査委員会

委員長 木村 福成 (慶應義塾大学)  
委員 石川 城太 (一橋大学) 岡本 久之 (兵庫県立大学) 藪内 繁己 (愛知大学)

#### その他日本国際経済学会関係者

日本経済学会連合評議員 浦田秀次郎 (早稲田大学)  
若杉 隆平 (京都大学) (2011年4月より馬田啓一 (杏林大学), 3年任期)

### 平成 22 年度新入会者 (追加)

※個人情報保護のため削除しました。



## 平成 23 年度（第 6 回）小島清賞について（お知らせ）

日本国際経済学会・小島清基金運営委員会委員長  
阿部 顕三

日本国際経済学会小島清基金運営委員会では、平成 23 年度（第 6 回）小島清賞の受賞者選考に際しまして、学会員の皆様からの推薦（自薦を含む）という形で候補者に関する情報を幅広く受け付けています。小島清賞には研究奨励賞と優秀論文賞があります。詳しくは本学会ホームページをご覧ください。

以下の宛先まで「郵送」にて候補者に関する情報（推薦書）をお寄せください。推薦書には、候補者の氏名、所属、業績、その他小島賞への推薦理由となる事柄をお書きください。様式は自由です。また、情報提供者ご自身の氏名、所属、連絡先（電話、FAX、電子メール等）もあわせてお知らせください。なお、情報提供の締め切りは 2011 年 4 月 28 日（木）とします。

郵送先 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1  
神戸大学大学院経済学研究科 中西訓嗣研究室気付  
日本国際経済学会 小島清基金運営委員会事務局

## 平成 23 年度（第 1 回）特定領域研究奨励賞（小田賞）について（お知らせ）

日本国際経済学会・特定領域研究奨励賞（小田賞）審査委員会委員長  
木村 福成

平成 22 年 10 月の会員総会にてお知らせしました通り、このたび、小田正雄氏より 200 万円の御寄付をいただき、特定領域研究奨励賞（小田賞）を新設いたしました。この賞は、「世界で活躍する国際経済学研究者を育成すること」を目的とし、次のような事業を内容とするものです（詳しくは学会ホームページをご覧ください）。

- (1) 国際貿易・貿易政策に関する優れた研究を行い、外国の査読付き雑誌に論文を掲載した学会員を顕彰する（審査対象論文は候補者の近刊および過去のすべてのものを含む）。
- (2) 受賞者は受賞年度 3 月末の時点で 45 歳以下とし、原則として毎年 1 名とする。
- (3) 受賞者には賞金 10 万円を授与する。
- (4) 本事業は平成 22 年 10 月よりおおむね 10 年を目処として実施する。

候補者は、自薦または審査委員会の推薦により、選ぶものとされています。自薦いただける方は、2011 年 6 月末日までに、論文および略歴・業績表を、審査委員長宛（木村福成：fkimura@econ.keio.ac.jp）お送りください。

<p>●第 5 回 榎山純三賞受賞！ 長谷川啓之監修 谷口洋志他編 <b>現代アジア事典</b> 1396 総頁 2013 年 9 月 2 項目 本書は、成長かつ激動するアジアの総体的把握と同時に、アジア各国の政治・経済・社会・教育・文化・宗教・地理の細部にまで踏み込み現代アジアの正確かつ深い理解をめざすものである。 ●政治・経済・社会・伝説・文化の各分野の力を総集した高熱度の高い事典「産経新聞」一語題の書より。</p> <p>●研究者・政策立案者にとり極めて有益な最高の研究書！ V.K.アガワル&amp;浦田秀次郎編/浦田・上久保監訳 定価 3990 円</p> <p><b>FTA の政治経済分析</b> アジア太平洋地域の二国間貿易主義 WTO の代替的な手法として二国間による自由貿易協定交渉は象徴的である。本書は、なぜ二国間自由貿易協定が進展したのか、どのように進展したのか、そしてどのようにして他の自由貿易協定の要因や示唆を考察する研究者、政策立案者にとり極めて有益な書。</p> <p>●新学研究 45 年余に及ぶ研究成果！ 労作！ 柳田義章著 定価 3360 円</p> <p><b>東アジア諸国の産業の国際競争力</b> その変化と展望の統計分析（リカードの貿易理論、比較生産費理論）の実証と現代国際経済・貿易諸問題への適用を根拠テーマに日韓中台及米の国際競争力について変化と展望を分析。結果を踏まえ世界金融危機・世界同時不況の解明を試み、同時に均衡のとれた国際分業の形成、小一東アジア共同体の「民主的共生社会・共生世界」の構築を提言。</p> <p>●ベトナム経済の発展方向を提示する力編！ 早稲田大学ベトナム総合研究所編 定価 2730 円</p> <p><b>東アジア新時代とベトナム経済</b> 現段階の東アジア経済の二大特徴である自由貿易と中国の台頭が、この地域の後進国であるベトナムにどのような影響を与えているか、ベトナムがどう対応すべきか、早稲田大学ベトナム総合研究所の専門家が工業、対中貿易、企業、金融、証券などに関するベトナムの問題点を分析し、日越関係の役割も論じて、今後のベトナム経済の発展方向を提示する。</p> <p>●現代人種思想の起源を解いた南アフリカ研究の一大古典！ C.W.デキューイト著/野口達彦・野口知彦訳 定価 3360 円</p> <p><b>南アフリカ社会経済史</b> W.V.マクミラン教授の先駆的業績と、L.トンプソン教授の大家「南アフリカの歴史」を架橋する本書は、正例の多数の黒人先住民社会は種族・参入したオランダ系白人であるボリア人の恐怖から生じた人種差別思想が、後発のイギリス人の自由帝国主義と絡んで、やせたアフリカ台地に織り成す歴史を、臨場感あふれる筆致で描き尽す一大古典である。</p> <p>●幅広く考察したグローバリゼーション分析の決定版！ 青木 健・馬田啓一編著 定価 3045 円</p> <p><b>グローバリゼーションと日本経済</b> グローバリゼーションの危険性が指摘されるなか、日本経済のグローバル化はもはや不可逆の流れである。未曾有の世界経済危機・加速する東アジア統合化・深刻化する地球環境問題などに対して、日本はどう対応すべきなのか、日本経済が直面しているグローバル化の新たな問題点と課題について、幅広く考察したグローバリゼーション分析の決定版。</p>	<p>文眞堂</p> <p>〒100-0001 東京都新宿区早稲田鶴巻町 533 TEL.03-3202-8480 URL: http://www.bunshin-do.co.jp FAX.03-3203-2638</p>
---	---

**本部・各支部事務所所在地（注：※印付は新しい事務局所在地）**

- ※【本 部】 日本国際経済学会 本部事務局  
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45  
慶應義塾大学大学商学部 遠藤正寛研究室気付  
Tel: 03-5427-1277（研究室直通） Fax: 03-5427-1578（研究室事務室）  
E-mail: jsie-office@fbc.keio.ac.jp
- ※【関東支部】 日本国際経済学会 関東支部事務局  
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1  
上智大学経済学部 蓬田守弘研究室気付  
Tel: 03-3238-3213 Fax: 03-3238-3086  
E-mail: m-yomogi@sophia.ac.jp
- 【中部支部】 日本国際経済学会 中部支部事務局  
〒441-8522 豊橋市町畑町 1-1  
愛知大学経済学部 栗原裕研究室気付  
Tel & Fax: 0532-47-4468（研究室直通）  
E-mail: kurihara@aichi-u.ac.jp
- ※【関西支部】 日本国際経済学会 関西支部事務局  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
京都大学大学院経済学研究科 神事直人研究室気付  
Tel & Fax: 075-753-3511（研究室直通）  
E-mail: jsie-west@econ.kyoto-u.ac.jp
- 【日本国際経済学会ホームページ】 <http://www.soc.nii.ac.jp/jsie/>
- 【学協会サポートセンター】  
〒231-0023 横浜市中区山下町 194-502  
Tel: 045-671-1525 Fax: 045-671-1935  
E-mail: scs@gakkyokai.jp
- 【学協会サポートセンターホームページ】 <http://www.gakkyokai.jp/>

# 世界経済評論

# WORLD ECONOMIC REVIEW

■2011年 1/2月号

**総特集◎白馬会議 2010 “失われた 20 年” を脱却せよ！**

日本企業はサムスンの強さから何を学ぶか？ 石田 賢

日本の政治は復活戦略をリードできるか？ 上杉 隆

日本経済はアジア太平洋のフロンティアにどう立ち向かうか？ 木村福成

地方経済はグローバル競争下でどう戦うか？ 藻谷浩介

【クロステーマ】日本の復活戦略を問う ほか

B5判・90ページ／定価 1260円

◎定期購読キャンペーン実施中！ 今、定期購読をお申し込みいただくと、年間 7000 円を 4200 円に！

社団法人 **世界経済研究協会**

<http://www.sekaikeizai.or.jp>

〒107-0052 東京都港区赤坂 5-2-41 赤坂サンクビル 203

TEL:03-6423-0057/FAX:03-6423-0056